



『グリム童話』を編集したことで知られる「グリム兄弟」のうち、兄のヤーコプ・グリム（一七八五～一八六三）はドイツの文献学者で言語学者、法学者。

ハーナウに生まれ、弟ヴィルヘルム（一七八六～一八五九）とともにマールブルク大学で法学を修めたが、同地で出会った教授や詩人たちの影響を受けて古代ゲルマン文化に関心を寄せ、ドイツに伝わるメルヘンを、弟と協力して搜し集めた。

「ヘンゼルとグレーテル」「赤ずきん」「白雪姫」「ラプンツェル」などを収録した『子どもと家庭のメーラーヒェン集』は、今日『グリム童話』と通称され、世界中

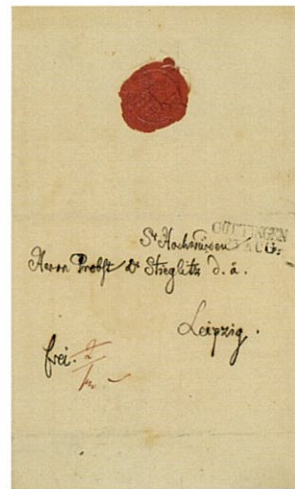
で親しまれている。

また彼は、言語学者としても、ゲルマン語の子音推移に関する法則（グリムの法則）

を自著『ドイツ語文法』で示し、さらには

ドイツ語・ゲルマン語の語彙と文法の集大成である『ドイツ語辞典』を兄弟で著すなど、言語学、ゲルマン語学の史的研究にも不朽の功績を残している。

掲出は、ヤーコプ・グリムがゲッティンゲン大学の図書館司書官兼言語学の教授職に就任した翌年の、一八三一年八月二十三日付書簡で、ライプツィヒ在住のシュテューグリッツ教授に



宛てたもの。

ドイツ協会年報に関する意見や批評が述べられ、その中で古代の聖人伝説、民話や詩、またドイツ古語の母音のことについても触れられている。

洋紙の両面にペン書き。カットは封筒で、ゲッティンゲンの消印付き。朱の封蝋ふうろうに捺された彼の印には、紋章が見て取れる。

（天理図書館 福田由紀子）

天理図書館のお知らせ Tel: 0743-63-9200 <http://www.tcl.gr.jp/>

◆平日（午前9時～午後5時半） 土・日・祝（午前9時～午後4時半）

○6月の休館日:30日

（本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください）